

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

放課後等デイサービス ウェルネスリンク

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・動的な遊びをしたい利用者に配慮して安全な活動に取り組んでいる
	2	職員の配置数は適切であるか			○	・ガイドラインに従い人員配置している。ただし、十分な配置数であっても、利用者へのより手厚い支援をしていきたいと考えているので、1利用者に対応する職員数、職員個々のスキル向上など改善に努め、今後の支援につなげたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・玄関付近の出入りが混雑しないよう送り時配慮している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・日々の振りかえり、月2回MTで行なっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		・評価実施初回の為、今後につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	・評価実施初回の為、後日HP上で公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者委員会の設置はしていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・月1回研修会、随時学習会を行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・行動観察、評価シートを使い行っている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・発達評価表を共有している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・前々月MTで案を出し、意見交換し前月中旬で決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・運動、SST、工作、情報技術、外出とローテーションで工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・平日は滞在時間を考慮し、負担なく行えるように、また、長期休暇は午前と午後を設置している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・当日の利用人数等により適宜日課を組んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝礼にて共有している。申し送り帳の利用をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・申し送りにて共有している。申し送り帳の利用をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		・提供記録は確実にしているが、検証、改善はケースによる。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・「地域交流」は季節行事の参加のみとなっている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		・保護者を通じ情報を共有している。送迎時に随時お伝えしている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・ケア児の利用がない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・保護者を通じ情報をいただいている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	・該当利用児がない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・勤務体制によるが参加努力をしている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・近隣の児童館との実施は検討しているが、行えていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・研修参加
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・面談や日々の送迎時にお伝えしている。学校と情報共有の基、行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時、行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・信頼関係の基に、随時行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・保護者会の設置はしていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・職員間で共有し、対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・HPIに活動予定掲載、保護者へ配布している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・保護者との関係性を構築しながら適宜対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・今後、体制を整えた上で検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・職員間で研修を行い周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・月1度、集団活動に取り組んでいる。予定表記載し保護者へお知らせしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・学習会の実施
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・障害特性理解の学習会を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・保護者からの情報のみだが、食事の座席、見守り対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		・事例の場合の対応、振りかえりは行っているが作成まではいっていない。